

2011年10月15日

独立行政法人国立病院機構神戸医療センター 院長 由宇芳才 様

〒661-0002 兵庫県尼崎市南塚口町1丁目21-23 石川方
兵庫県タバコフリー協会（旧称 兵庫県喫煙問題研究会） 会長 藺 潤
<http://tobaccofreehyogo.sakura.ne.jp/>

貴医療センター敷地内禁煙化の要望

突然、このような要望書を差し上げることをお許し下さい。本会の詳細については、兵庫県喫煙問題研究会（旧称）のHPをご覧ください。

さて、貴センターに通院中の本会員より、貴センターの自転車置き場の横に喫煙所があり、受動喫煙被害を受けているので、貴センターを敷地内禁煙にしてほしいとの要望がありました。貴センターは、がん診療拠点病院・日本医療機能評価機構認定病院・臨床研修医研修指定病院・赤ちゃんにやさしい病院などの認定を受けておられ、事実上は厚労省の直轄病院であり、他の病院の見本となるべき地域の中核病院です。

喫煙は、癌のみならず、循環器疾患・COPD・歯周病等の大きな寄与因子であり、WHOは毎年世界で600万人、日本でも20万人の早期死亡の原因と指摘しています。受動喫煙の被害も深刻で、毎年6800人が死亡していると厚労省は発表しています。喫煙習慣は、ニコチンという薬物の依存症であり、その治療は条件付きながら健康保険適用が認められています。貴センター敷地内に喫煙所があることは、喫煙をマナーの問題に矮小化し、根本的な健康指導を放棄していると取られても仕方がありません。

どうか、貴センターを敷地内禁煙（Smoke-free）にし、禁煙外来を設け、患者・家族の禁煙指導を強化してください。また、HPや入院案内にも「タバコの持ち込みは認めません」というTobacco-Free Hospital宣言をお願いします。敷地内禁煙のみでは、敷地外周辺での喫煙が増加し、問題解決にはならないからです。また、患者の禁煙指導に必須の器具として、呼気中CO測定器スモーカーライザー（約15万円）をできるだけ多く購入され、看護師さんも使えるようにしてください。私は、神戸市立中央市民病院勤務時代に、同院を2005年に敷地内禁煙にしたノウハウを持っておりますので、講演に呼んでいただければボランティアで、そのノウハウをお話しすることができます。

ご多忙中恐縮ですが、ご回答を書面で本年11月末日までに、上記にいただきたく、宜しく願い申し上げます。 以上